



平成31年度 八幡市当初予算案の概要

住んでよし、訪れてよし

Smart Wellness City,
Smart Welcoming City

Yawata City

みんなで創って好きになる
健やかで心豊かに暮らせるまち





予算編成の基本的な考え方

H30現状認識

- **相次ぐ自然災害からの復旧、減災対策等の今後の備えが急務**
→ 大阪北部地震や台風21号による公共施設や農業施設等の被害総額は約5億円
- **第5次総合計画の着実な推進**
→ H30に第5次総合計画を策定 → H31は新総計の実質初年度
- **市民税の回復と消費増税への対策**
→ 景気回復の地方への波及等により市民税が一定回復(10年ぶりの水準)
→ 消費増税による影響は、今後の経済状況の変化など不確定要因が多く、H31補正予算も含めて対応する必要

予算編成の考え方

- **国補正予算も活用して災害対応、安心・安全対策を前倒しして実施**
→ 2月補正予算対応 1.2億円(13か月予算)
- **H31当初予算で第5次総計に基づく施策を積極的に展開**
→ 一般会計予算規模250億円(+3.1%) ※H31補正予算で10月からの消費増税対応



予算規模

防災・減災対策と新総合計画重点6分野に積極的に投資

- 国補正予算も活用して13か月予算を編成
- 災害対応拠点となる庁舎整備、橋本駅周辺拠点整備（駅前広場整備等）に本格着手
- 国の地方創生関連予算などの特定財源を積極的に確保
- 昨年度に引き続き地方債現在高を抑制

（単位：千円、％）

➤ 一般会計 250億円

（対前年度当初比 103.1％）

※地方財政計画102.9％

➤ 特別会計 150億2千万円

➤ 事業会計 44億6千万円

全会計合計 444億8千万円

会計名		平成31年度予算額	平成30年度予算額	増減率
一般会計		25,000,000	24,240,000	3.1
特別会計	休日応急診療所会計	26,700	38,500	△ 30.6
	駐車場会計	12,400	12,600	△ 1.6
	国民健康保険会計	7,860,200	8,046,100	△ 2.3
	介護保険会計	5,455,000	5,254,000	3.8
	後期高齢者医療会計	1,669,600	1,598,800	4.4
合計		15,023,900	14,950,000	0.5
水道事業会計		1,952,361	2,064,336	△ 5.4
下水道事業会計		2,504,516	2,891,086	△ 13.4
総計		44,480,777	44,145,422	0.8

【上記に加えて2月補正緊急対策(1.2億円規模)を実施】



第5次総合計画の概要

(2018-2027)

—Smart Wellness City, Smart Welcoming City—

■ともに支え合う「共生のまち やわた」

～多様な生き方を尊重し合い、共に輝きながら生きていけるまちづくり

■子どもが輝く「未来のまち やわた」

～未来を担う子どもの成長を地域で一貫してサポート

■誰もが「健康」で「幸せ」な「健幸のまち やわた」

～「健康」で「幸せ」に暮らし続けられるスマートウェルネスシティの推進

■自然と歴史と文化が織りなす「観幸のまち やわた」

～歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち」

■しなやかに発展する「活力のまち やわた」

～人・物の流れをつくる基盤の整備

■持続可能な「安心・安全のまち やわた」

～市民の生命・財産を守り、持続可能なまちづくりをさらに推進



「共生・協働のまちづくり」

多様な生き方を尊重する共生・協働社会の推進

外国人居住者対策

新規

外国語版母子健康手帳

6か国語に対応した母子健康手帳を作成、交付

自動翻訳装置の配備

日常生活・学校・医療・防災安全の観点から自動翻訳装置を配備

効果的な支援方策研究

職員提案制度を活用し、ニーズに応じたコミュニケーション支援策等を研究

地域生活支援拠点事業

充実

8,100千円 ➡ 17,700千円

府子育て支援医療制度拡充に伴う
軽減分の財源を活用

相談支援

障がい特性に応じた24時間365日対応の相談支援

居室確保

3拠点連携
による事業展開

緊急時・施設体験のための居室確保 ➡ 【2床×3事業所に拡充】

生活支援

ワンストップの総合的な相談・生活支援体制の構築

男女共同参画社会の推進

新規

男山再生プロジェクト

「談活」プロジェクト

男女共同参画プラン（るーぷ計画）改訂

「“人づくり”」「“場づくり”」

機会の提供

- ◆ 「防災面の男女共同参画」等の新たな視点を加味
- ◆ H31：意識調査 ➡ H32：計画策定

地域再生・地域福祉の担い手づくり



「子どもが輝く未来のまちづくり」

未来を担う子どもの成長を地域で一貫サポート

産前・産後のケア

充実

産前・産後ヘルパー派遣

産後ケア(助産師派遣) **新**

・産前・産後の不安解消
・発達段階に応じた育児不安の解消

乳幼児発達クリニック

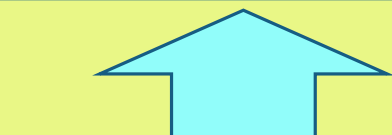
10か月児育児健康相談

地域における妊娠・出産から子育て期までの切れ目のない支援

児童発達支援センター整備

新規

児童発達支援センター整備



児童発達支援事業

<通所支援>

児童発達支援

放課後等
デイサービス

<地域支援>

保育所等
訪問事業 **新**

障害児
相談支援

<地域連携・貢献>

福祉避難所 **新**

地域交流
スペース **新**

地域の
中核的な
療育支援
施設

子ども国際交流事業

新規

H29～友好都市マイラン村とのインターネット交流

交流拡大

H31 中学生の訪問交流

スタディサポート【鳩嶺教室】

成果

H29

- ・受講生 102人
- ・3年生全員高校進学
- ・第1希望進学率 9割以上

H30

- ・受講生 136人
- ・H29からの継続率94%

学校 | ICT環境整備

新規

国 | ICT環境整備方針

H31

教育PCをタブレット型に
(全小中学校)

無線LAN整備(中学校2校)

計画的に
順次配備



「『健幸』のまちづくり」

「健康」で「幸せ」を実感。スマートウェルネスシティ推進

やわた未来いきいき健幸プロジェクト

新規

健康活動に応じてポイントが貯まる成果連動型の民間委託ヘルスケア事業(SIB導入)

プロジェクト(SIB)スキーム

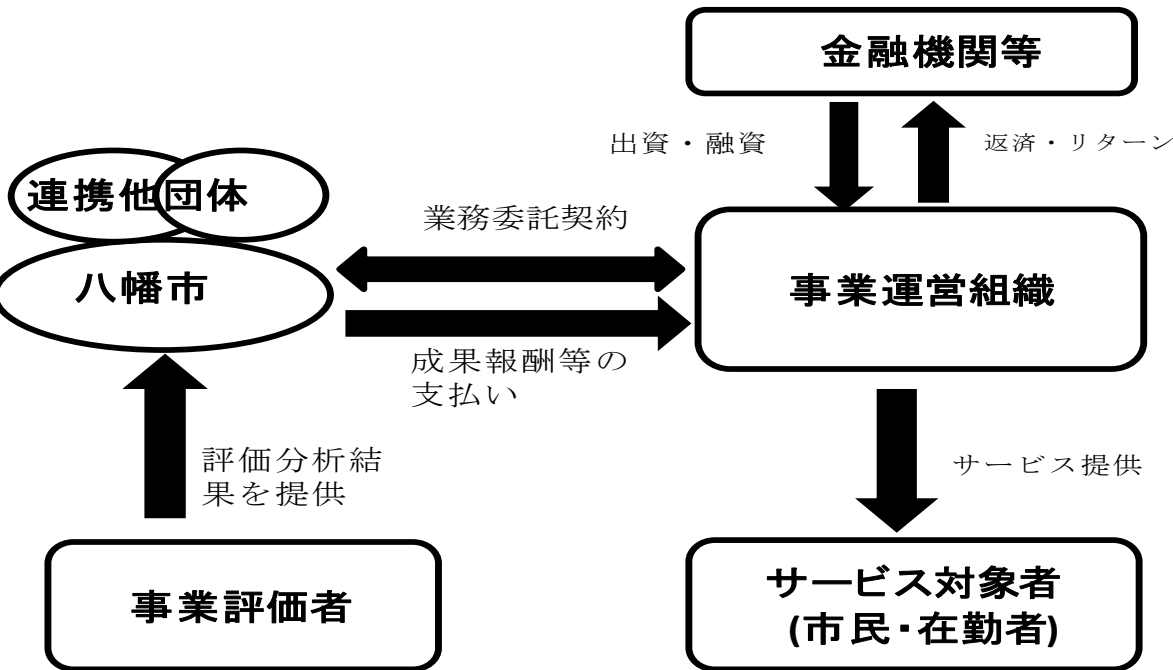
八幡市含む
全国5団体による
広域連携事業

内閣府

地方創生推進交付金による支援

導入効果

- 健康意識の向上
- 医療費の抑制
- 広域連携による費用対効果の向上



健康コミュニティ推進事業（生活総合機能改善事業）

新規

「うたと音楽」を使った、運動・口腔、認知機能の向上と地域コミュニティの活性化(市内2カ所で実施予定) → 介護予防・外出機会創出・地域交流の場の提供

高齢者だけでなく子育て世帯等も参加



「『観幸』のまちづくり」

歴史と文化が織りなす「観幸／出逢いのまち やわた」

インバウンド対応発信強化

新規

台湾プロモーション展開

東京オリパラ・大阪万博に向けて台湾プロ
モーター招致



SNS発信

外国語表記観光案内板



八幡STORYの新展開



高野山・比叡山・男山
石清水八幡宮
【聖地巡礼PR】



徒然草エッセイ大賞 ～シビックプライドの醸成

松花堂及び書院庭園保存活用

Chazz in YAWATA



▶ 応募総数 2,036件
(47都道府県)

▶ 海外応募 8か国・地域

▶ 市内小学生の応募倍増



「八幡の自分たちの文学賞」



▶ 災害復旧及び保存活用
整備(H31～H35)



▶ お茶と音楽による魅力
発信(10月開催予定)



「活力のまち やわた」

八幡ににぎわいをもたらす新たな価値創造と基盤整備を推進

橋本駅周辺拠点整備事業

H31本格着手



整備イメージ

駅アクセス向上

駅利便性向上

交通結節機能強化

生活交流拠点
にぎわいの創出

こんなもんじゃな
い！もっと八幡の農
業を

立地適正化計画策定 (H31~H32)

新規

- 居住機能、医療・福祉・商業等の都市機能の立地、今後の公共交通等を包括する計画を策定

国助成制度を
活用した基盤
整備を展開

生活サービス
確保・コミュニ
ティ維持

八幡市地域公
共交通会議

H31設置

やわた農業まつり開催

新規

- 国連「家族農業の10年」を機に、台風被害にも負けていない元気な八幡の農業をPR

時期：平成31年11月（予定）

場所：さくらであい館（予定）

内容：農産物販売、農業体験、八幡産食のPR等



「安心・安全のまちづくり」

市民の生命・財産を守り、持続可能で「安心・安全」なまち

新庁舎整備事業 ～防災拠点機能と市民の利便性を確保

H34開庁予定



整備イメージ

安心・安全の確保

▶ 災害時の自立性を備えて災害対策機能を維持

高い利便性の確保

▶ 行政需要の変化に対応できる柔軟なフロア計画に

市民に親しまれる庁舎

▶ 市民協働・交流を支える開かれた庁舎に

新庁舎建設概算事業費 約80億円

▶ 国の時限的財政措置を活用して財政負担を軽減

防災・減災対策の強化 ～国補正予算も活用して13か月予算で対応

充実

H31当初予算分

- ▶ ブロック塀対策助成充実
- ▶ 避難訓練コンサート（生涯学習C）^新
- ▶ 災害時使用井戸水の確保^新
- ▶ 木造耐震診断を継続実施
- ▶ 子ども防災デイキャンプ^新
- ▶ 木造耐震改修助成を増額確保

学校の安心安全対策

- ▶ 学校施設等長寿命化計画策定^新
- ▶ 交通安全施設整備（「ゾーン30」設定）
- ▶ 小中学校グラウンド整備

※ H30発生災害分の被災家屋修繕支援、農業者災害復旧支援は繰越予算対応



緊急安心安全対策(30年度2月補正)

多発する自然災害を踏まえた前倒し事業

1. 2億円規模

新規

中学校体育館等空調設備整備 ～ 「国の緊急3か年対策」も活用して避難施設の空調設備導入に着手



災害時のエネルギー供給を確保

▶ 停電時に自立運転（給電、空調）可能なシステム

災害時の避難者の健康管理

▶ 空調導入により避難者の体調・健康管理に寄与

大規模避難施設から順次着手

▶ 中学校体育館から先行実施

雨水地下貯留施設追加整備の検討開始



市内3基目

▶ 庁舎整備に合わせて地下空間の有効活用を検討

雨水地下貯留施設のイメージ図

コミュニティの安心・安全確保

早期に着手可能なコミュニティ施設等の修繕を実施し、身近な安心・安全を確保

▶ コミュニティ施設整備助成

▶ 公園遊具改修・市民体育館熱中症対策

▶ 公共施設・消防設備等の修繕・改修



行財政改革の取組

H30の取組

➤ 6.7億円の行革効果を達成

- 本格的な歳入不足に陥る前に前倒して行財政改革を実施

当初予算編成での対応

➤ 事業の再構築により新総合計画に即した事業の財源を確保

- 事務事業の見直し等により財源を確保

50事業 183百万円(一般財源ベース)

- 新総合計画に対応した新規・拡充施策に充当

51事業 323百万円(一般財源ベース:194百万円)

H31以降の取組

➤ 第7次行財政改革と第5次総合計画の着実な推進

【基本方針】

- ①持続可能な行財政構造
- ②多様な担い手による行政サービスの提供
- ③効率的・効果的な市民サービスの提供